



概要

このリリースノートでは、Unified Communications Manager および IM and Presence Service の両方の新機能、要件、制約事項、および警告について説明します。このリリースノートは、メンテナンスリリースごとに毎回更新されていますが、パッチまたはホットフィックス向けには更新されていません。

Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications システムの呼処理コンポーネントであり、企業のテレフォニー機能を拡張して、IP Phone、メディア処理装置、VoIP (Voice-over-IP) ゲートウェイ、モバイルデバイス、およびマルチメディアアプリケーションを利用可能にします。

IM and Presence Service は、ユーザが通信デバイス（電話機など）を特定の時間に使用しているかどうかなど、ユーザの可用性に関する情報を収集します。また、IM and Presence Service は、Web コラボレーションまたはビデオ会議が有効かどうかなど、個々のユーザの通信機能に関する情報も収集できます。Cisco Jabber や Unified Communications Manager などのアプリケーションは、従業員の生産性を向上させるために、この情報を使用します。つまり、これは従業員が同僚とより効率的に連絡を取り、コラボレーティブコミュニケーションの最も効果的な方法を決定するために役立ちます。



(注)

これまで、輸出許可、政府規制、および輸入制限によって、Unified Communications Manager および IM and Presence Service を世界中に供給することは制限されてきました。シスコはこの問題に対処するために、無制限の米国輸出分類を取得しました。

制限されていないリリースをインストールしたら、制限されたバージョンにアップグレードできなくなることに注意してください。制限されていないバージョンを含むシステムに、制限されたバージョンを新規インストールすることも許可されません。

いずれかの製品をインストールまたはアップグレードする前に、入手可能なマニュアルについて、[関連資料](#)を確認することを推奨します。

- [ハードウェア サーバ要件, 2 ページ](#)
- [サーバソフトウェアの要件, 5 ページ](#)
- [サポートされるブラウザ, 6 ページ](#)

ハードウェアサーバ要件

ここでは、このリリースの Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service のシステム要件について説明します。

Cisco Unified Communications Manager に対するサーバのサポート

Cisco Media Convergence Server (MCS) 、Cisco Unified Computing System (UCS) サーバ、シスコ認定 HP サーバ コンフィギュレーション、またはシスコ認定 IBM サーバ コンフィギュレーションで、Unified Communications Manager と IM and Presence Service をインストールし、設定します。このリリースの Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service と互換性のある MCS サーバおよび UCS サーバについては、関連する互換性マトリクスを参照してください。

- 「*Hardware and Software Compatibility Information for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*」 -http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html
- 「*Supported Servers for Releases of Cisco Unified Communications Manager and Cisco Intercompany Media Engine*」 -http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6790/ps5748/ps378/prod_brochure0900aecd8062a4f9.html

IM and Presence Service に対するサーバのサポート



(注) IM and Presence Service では、4 GB の RAM が必要です。ただし、500 ユーザおよび Business Edition 6000 OVA 配備に必要な RAM は、2 GB です。

IM and Presence Service は、ハードウェアサーバにロードされるソフトウェアです。ハードウェアサーバは、次の要件を満たす必要があります。

- 次のサーバ モデルのいずれか
 - 「*Hardware and Software Compatibility Information for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*」 にリストされている Cisco 7800 シリーズ Media Convergence Server (MCS) 。最新の情報については、Cisco.com を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html



(注) IM and Presence Service は、MCS-xxxx-I1-IPC1 サーバまたは MCS-xxxx-H1-IPC1 サーバをサポートしていません。ただし、MCS-7825-H1-IPC1、MCS-7825-I2-IPC1、MCS-7825-I1-IPC1、MCS-7825-I2-IPC2 のサーバを除き、製造中止となったハードウェアから移行する必要があるお客様は、ブリッジアップグレードを使用できます。サポートされていないハードウェアおよびブリッジアップグレードの詳細については、次の場所にある『*Upgrade Guide for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_installation_guides_list.html

- サポートされている Cisco MCS サーバのいずれかと完全に等価である、お客様側で用意されるシスコの認可を得たサードパーティ製のサーバ。 <http://www.cisco.com/go/swonly> にアクセスしてください。
- Cisco Unified Computing System B シリーズブレードまたは Cisco Unified Computing System C シリーズラックマウントサーバ。これらの Cisco Unified Computing System サーバについては、「*Hardware and Software Compatibility Information for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*」を参照してください。

- DVD-ROM ドライブ
- キーボード、マウス、およびモニタ



(注) ポートと IP アドレス要件などの追加のサーバ要件は、次の場所にある『*Cisco Unified Communications Manager TCP and UDP Port Usage Guide*』に記述されています。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/port/9_0_1/CUCM_BK_T98E8963_00_

IM and Presence Service インストーラは、DVD-ROM ドライブ、十分なハードドライブとメモリサイズ、および十分な CPU のタイプと速度の有無を確認します。

IM and Presence Service は、次のいずれかのサーバからのブリッジアップグレードをサポートしています。

- MCS-7825-H2-IPC1
- MCS-7825-H2-IPC2
- MCS-7835-H1-IPC1
- MCS-7835-I1-IPC1
- MCS-7845-H1-IPC1
- MCS-7845-H2-IPC1 (2つの各ディスクの記憶域が 72GB 未満の場合のみ。それ以外の場合は、完全にサポートされます)。
- MCS-7845-I1-IPC1

ブリッジアップグレードにより、製造中止となったハードウェアに DRS バックアップを作成できるようになります。IM and Presence Service をサポート対象ハードウェアに新規インストールした後で、この DRS バックアップをサポート対象ハードウェアに復元できます。製造中止となったハードウェアでアップグレードを試行すると、インターフェイスと CLI に警告が表示され、Unified CM または IM and Presence Service が、このサーバで DRS バックアップを作成する機能だけをサポートしていることが通知されます。

無停電電源装置

バックアップ電源を提供してシステムを電源障害から保護するため、個々の Unified Communications Manager または IM and Presence Service サーバを無停電電源 (UPS) に接続することを推奨します。



注意

MCS-781x および MCS-782x サーバが UPS に接続されていない場合、停電時にファイルが破損するリスクが高くなります。これは、ドライブ書き込みキャッシュをイネーブルにした (内部 RAID キャッシュバッテリーのバックアップがない) サーバで、停電時に、キャッシュされたすべてのデータが失われるためです。このようなファイルシステムの破損を防ぐには、UPS にこれらのサーバを接続する必要があります。

Unified Communications Manager および IM and Presence Service が以下の表に示すいずれかのサーバで動作している場合、UPS モデル APC Smart-UPS 1500VA USB および APC 750VA XL USB との基本統合がサポートされます。

この統合は、単一のポイントツーポイント USB 接続を通じて実行されます。UPS へのシリアル接続や SNMP 接続はサポートされません。また、USB 接続はポイントツーポイントである必要があります (つまり、USB ハブは使用できません)。APC Smart-UPS 1500VA USB および APC 750VA XL USB では、シングルおよびデュアル USB UPS モデルがサポートされます。ブートアップ時に接続された UPS が検出されると、この機能が自動的にアクティブになります。

または、CLI コマンド **show ups status** を実行して、USB 接続の APC Smart-UPS デバイスの現在のステータスを表示し、監視サービスを (まだ開始していない場合に) 開始することもできます。この CLI コマンドは、検出されたハードウェア、検出されたバージョン、現在の消費電力、バッテリーのランタイム残量などのステータス情報も表示します。

この統合機能をアクティブにすると、バッテリー電力低下のしきい値に到達した直後に正規の手順によるシャットダウンが開始されます。この統合機能をアクティブにした後は、電力が回復したり変動したりしてもシャットダウンは中断しません。また、管理者はこのシャットダウンを中止できません。

サポートされない Unified Communications Manager または IM and Presence Service のリリース、MCS モデルまたは UPS モデルでは、外部スクリプトで UPS を監視できます。低バッテリーが検出された場合は、Unified Communications Manager または IM and Presence Service サーバに Secure Shell (SSH) を使用してログインし、CLI にアクセスして、**utils system shutdown** コマンドを実行できます。



- (注) 9.0 以前の Unified Communications Manager または IM and Presence Service が廃止予定のサーバで動作している場合、ブリッジアップグレード手順を使用して、そのサーバをアップグレードできます。

表 1: UPS 統合をサポートしているサーバ

HP サーバ	IBM サーバ	UCS サーバ
MCS-7816-H3	MCS-7816-I3	B200 M1 ブレード サーバ
MCS-7825-H3	MCS-7816-I4	B200 M2 ブレード サーバ
MCS-7825-H4	MCS-7816-I5	C200 M2 ラック サーバ
MCS-7828-H3	MCS-7825-I3	C210 M1 ラック サーバ
MCS-7835-H2	MCS-7825-I4	C210 M2 ラック サーバ
MCS-7845-H2	MCS-7825-I5	
	MCS-7828-I3	
	MCS-7828-I4	
	MCS-7828-I5	
	MCS-7835-I2	
	MCS-7845-I2	
	MCS-7845-I3	
	MCS-7845-I3	

サーバソフトウェアの要件

Unified Communications Manager および IM and Presence Service は、Cisco Linux ベースのオペレーティングシステム上で稼働します。このオペレーティングシステムは、いずれかのアプリケーションの購入価格に含まれています。

関連トピック

[システムのアップグレード](#)

サポートされるブラウザ

Unified Communications Manager および IM and Presence Service のインターフェイスにアクセスするには、次の Web ブラウザを使用してください。

- Microsoft Windows: Microsoft Internet Explorer バージョン 6.0 以降または Mozilla Firefox バージョン 3.x、4.x、10.x
- Mac: Safari 5.x または Mozilla Firefox バージョン 4.x、10.x

次の Web ブラウザは、Enterprise License Manager インターフェイスにアクセスするために正式にサポートされています。

- Firefox: バージョン 8、9、10
- Internet Explorer: バージョン 8、9
- Chrome: バージョン 15、16、17
- Safari : バージョン 5.1